

# 「三重県真珠振興計画（中間案）」の概要について

## 1 改定の背景

平成 30 年 4 月に策定した「三重県真珠振興計画」（以下、「振興計画」という。）は、策定から 5 年目となることに加え、気候変動によるアコヤガイのへい死や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興に関する社会情勢が大きく変化したことから、本年度改定することとしています。

## 2 振興計画の主な見直し

### 第 1 真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興の意義及び基本的な方向

- 令和元年度から発生しているアコヤガイのへい死、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等、近年の真珠産業及び真珠に係る宝飾文化に関する社会情勢等の変化を追記。

### 第 2 真珠の需要の長期見通しに即した生産目標

- 振興計画に記した施策（第 3 から第 5 の施策）の進捗管理を行うとともに、真珠振興に向けた取組をさらに推進するため、令和 9 年度までの数値目標を設定。
- 「②浚渫による漁場環境の改善」については、浚渫事業が休止しているため削除。新たに喫緊の課題であるへい死対策の一環として「②適正な養殖管理技術の普及件数」を設定。

| 目標項目                           | 令和 3 年度<br>目標 | 令和 3 年度<br>実績 | 令和 9 年度<br>目標 |
|--------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| ①新たな優良アコヤガイの生産技術等の開発           | 2 件           | 2 件           | 4 件           |
| ②適正な養殖管理技術の普及件数                | —             | 14 件          | 50 件          |
| ③真珠養殖業への就業希望者を育成する漁師塾等への受け入れ人数 | 4 名           | 4 名           | 10 名          |
| ④一般向け真珠講座等の開催による真珠文化の発信        | 500 名         | 1,178 名       | 2,600 名       |
| ⑤海外・国内からの真珠見学ツアーの受け入れ          | 150 名         | 215 名         | 450 名         |

※数値目標は全て累計

### 第 3 真珠産業の振興のための施策

- 高水温耐性のある真珠母貝育種や「三重県アコヤシードバンク」による系統保存等の生産振興、「三重県版アコヤタイムライン」の取組や適正な養殖管理の推進等のアコヤガイのへい死対策を追記。
- 景観の維持に関する記述を追記。

#### 第4 真珠に係る宝飾文化の振興のための施策

- ・真珠に係る情報発信について、新型コロナウイルス感染症による人流抑制の影響を受けないオンラインの活用を追記。

#### 第5 真珠の需要増進のための施策

- ・真珠の需要増進に向けたPR活動等のオンラインの活用を追記。
- ・真珠のブランドイメージ向上による需要増進の取組として、環境に配慮した持続可能な真珠養殖に関する情報発信を追記。
- ・今後開催が予定されている各種行事（「G7交通大臣会合」、「大阪・関西万博」、「第44回全国豊かな海づくり大会」等）における積極的な真珠の活用について追記。